

職業能力開発の推進について

1 高等技術専門校等における職業訓練

(1) 高等技術専門校における施設内訓練

県内高等技術専門校（以下「技専校」という。）では、離転職者や新規学卒者に対して、職業に必要な技能及び知識を習得するための職業訓練を実施。

【R5年度計画】

地域	校名	訓練科目	定員
福岡	福岡	自動車整備科、プログラム設計科、総合印刷システム科、空調設備科、電気設備科、建築科、ロボット溶接技術科、デジタルエンジニアリング科、アパレルサービス科	210人
北九州	戸畑	3D-CAD機械システム科、溶接科、介護サービス科	90人
	小倉	OA事務科、左官科、建築科、アパレルサービス科	90人
筑後	久留米	ものづくり×プログラム科、自動車整備科、建築科、介護サービス科	100人
	大牟田	電気設備科、OA事務科、ITエンジニア科、ロボット溶接技術科	90人
筑豊	小竹	プログラム設計科、自動車整備科、機械加工エンジニア科、建築科、デザイン塗装科、介護サービス科	130人
	田川	OA事務科、電気工事科、自動車整備科、木工家具科、エクステリア左官科	130人
合計		35科目	840人

【実績】

(R5年12月末現在)

年度	科目数	定員	入校者	入校率	修了者	就職者	就職率
R3	34	905人	638人	70.5%	524人	470人	89.7%
R4	34	880人	651人	74.0%	575人	521人	90.6%
R5	35	840人	524人	62.4%	—	—	—

- 令和5年度の入校者数は524人で前年度から127人の減、入校率は62.4%で前年度から11.6ポイントの減。
- 令和4年度の実績は、前年度を0.9ポイント上回る90.6%で、目標の91%を概ね達成。

① 入校促進の取組

○訓練科目の見直し

企業のニーズや技術の進歩に応じ、即戦力となる人材を育成するため、カリキュラムの見直しを実施。

【令和5年度】

- ・ I Tエンジニア科：デジタル技術系人材の養成や関連企業への就職率向上のため、大牟田校にデジタル技術系科目を新設。
- ・ 機械系訓練科：半導体等成長産業分野の人材育成を図るため、県内半導体関連企業でのオーダーメイド訓練を実施。

○広報の取組

ハローワークをはじめ、年代別・対象別就職支援センターや市町村等の関係機関を通じて周知。ホームページやSNSも積極的に活用。

【令和5年度】

- ・ 体験型オープンキャンパスの実施
- ・ 「福岡県の職業訓練」ホームページのリニューアル
- ・ 技専校PR動画の作成、SNSを活用した情報発信

② 就職促進の取組

各技専校に就職等推進員を配置し、訓練生に対する就職相談や企業訪問による求人開拓を実施。訓練修了後も、未就職者に対し来所相談を実施するなどの就職支援を実施。

③ 特別な配慮を要する訓練生への対応

精神障がいや発達障がいのある（疑いのある）訓練生に適切に対応する必要があることから、精神保健福祉士を3名配置し、7校を巡回して相談対応を実施。（H29～）

【内容】

- ・ 訓練生や家族との面談
- ・ 指導員からの相談対応、指導・助言
- ・ 出身校や行政機関、医療機関等への連絡、相談

【相談実績】

年度	合計	相談者		
		訓練生	指導員	その他※
R 2	474 件	147 件	285 件	42 件
R 3	826 件	114 件	660 件	52 件
R 4	1,338 件	154 件	1,017 件	167 件

※「その他」は
障害者就業・生活支援センター
市町村、事業者等

(2) 民間教育訓練機関等を活用した委託訓練

離転職者等に対する職業訓練を迅速かつ効果的に行うため、主として知識を習得するために行われるものについて、民間教育訓練機関等に委託して実施。

【R5年度計画】

訓練科目：204コース

介護職員実務者研修科、医療事務科、パソコン初級・中級連続養成科 等

定員：4,510人

【実績】

(R5年12月末現在)

年度	科目数	定員※	入校者	入校率	修了者	就職者	就職率
R3	188	4,142人	3,587人	86.6%	3,374人	2,737人	81.1%
R4	181(注)	4,104人	3,361人	81.9%	3,198人	2,576人	80.6%
R5	178	3,081人	2,497人	81.0%	—	—	—

(注) データ誤りのため179から181に数値訂正 (R6.4.30)

※実施コースのみ

① 子育て中の方を対象とした委託訓練の実施

子育て中の方が安心して職業訓練を受講できるよう、託児付、短時間、e-ラーニングでの訓練を実施。

【R4年度実績】

(就職率はR5年12月末現在)

	コース数	定員	入校者	入校率	就職率	託児利用者
①短時間	10	245人	186人	75.9%	69.6%	—
②短時間(託児付)	6	150人	150人	100%	92.4%	0人
③託児付	59	1,488人	1,296人	87.1%	81.4%	20人
④e-ラーニング	2	10人	10人	100%	50.0%	—

② 長期高度人材育成コースの実施

非正規雇用での就労期間が長い方の正社員就職を実現するため、国家資格等の高い職業能力の習得を支援する「長期高度人材育成コース」を短期大学、専門学校等に委託して実施。

【R5年度実施状況】

コース名	訓練期間	コース数	定員	入校者数
介護福祉士養成科	2年	3	3人	5人
保育士養成科	2年	6	28人	31人
美容師養成科	2年	1	5人	4人
栄養士養成科	2年	1	5人	4人
測量技術士養成科	1年	1	3人	2人
社会福祉士養成科	1年	1	15人	15人
合計		13	59人	61人

③ R6年度の取組

- デジタル人材の育成が求められている現状を踏まえ、引き続きデジタル分野のコースを拡充する。
- 子育て中の方等の受講を図るため、引き続き託児付き訓練や短時間訓練を実施する。

(3) 在職者訓練

① 認定職業訓練

事業主又は団体が実施する職業訓練について、厚生労働省の基準に基づいて県が認定。

【R5年12月現在】認定事業主・団体数 26（内訳：事業主10、団体16）

② 在職者を対象とした受託生訓練

令和2年度から技専校において、在職者の自己啓発や、企業における社員教育を支援するため、事業者との契約のもと、在職者が一般の訓練生と共に行う受託生訓練（職業能力開発セミナー）を実施。

【R5年12月現在】6コース、13人

- 〈課題〉 ・企業、団体等への周知
- ・魅力ある訓練メニューの設定

2 障がいのある方に対する職業訓練

(1) 福岡障害者職業能力開発校（以下「障害者校」）における施設内訓練

障がい（身体・視覚・精神・知的障がい等）のある方を対象に、職業に必要な知識・技能の習得、就職を支援。

【R5年度計画】

訓練科目：7科目

3D-CAD科、プログラム設計科、商業デザイン科、OA事務科、
流通ビジネス科、総合実務科、職域開発科

定員：145人

【実績】

（R5年12月末現在）

年度	科目数	定員	入校者	入校率	修了者	就職者	就職率
R3	7	150人	63人	42.0%	46人	40人	87.0%
R4	7	150人	65人	43.3%	57人	48人	84.2%
R5	7	145人	78人	53.8%	—	—	—

① 入校促進の取組

- 応募にあたり身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持を問わないこととし、応募対象者を拡大。（H30～）
- 応募者の利便性向上のため選考試験を福岡市内でも実施。（H30～）
- オープンキャンパスの内容を拡充。（R2～）

② 就職促進の取組

- 求人企業を対象としたセミナーにおいて、企業へのインターンシップ実施の呼びかけを行い、マッチングの機会を拡大。
- ハローワークの障がい者就労支援相談員向け校内見学会を実施（R1～ 年2回）
- 就労移行支援事業所の職員向け校内見学会を実施（R1～ 年1回）

③ 精神障がい者の受入体制

精神障がい（発達障がいを含む）のある訓練生に配慮した訓練を実施するため、精神保健福祉士を2名配置。（H29～）

【内容】

- ・ 訓練の様子を観察、訓練生との面談。訓練生の個々の障がい特性を把握
- ・ 指導員からの相談対応、指導・助言
- ・ 医療機関への同行、家族との面談。出身校や他の行政機関等への連絡、相談
- ・ 企業面接への同行、企業への説明

【相談実績】

年度	合計	相談者		
		訓練生	指導員	その他
R 2	739 件	37 件	700 件	2 件
R 3	725 件	227 件	496 件	2 件
R 4	438 件	141 件	291 件	6 件

【精神障がい者等の入校状況】

年度	入校者数	うち精神障がい者等	割合
R 3	63 人	33 人	52.4%
R 4	65 人	42 人	64.6%
R 5	78 人	49 人	62.8%

④ 今後の方向性

- 高等技術専門校の施設内訓練と同様に、R3年度からオンライン訓練を実施。
テレワーク就労に対応した訓練実施については、関係課とも連携し、テレワークによる障がい者雇用の促進を図る。
- 障害者校では、精神障がいのある訓練生（発達障がい等を含む）が年々増加しており、精神障がいのある訓練生が円滑に受講できる体制の整備が必要。
引き続き、指導員が職業能力開発総合大学校や民間企業等への派遣研修を受講し、指導方法等を習得することで、専門性の確保を図る。

(2) 委託訓練

障がいのある人が身近な地域で職業訓練を受講できるよう、生活圏ごとに民間教育訓練機関等を活用した委託訓練を実施。

【R5年度計画】

- ・知識・技能習得訓練（パソコン基礎・実務等） 10コース 82人
- ・企業実習訓練 32人

【実績】

(R5年12月末現在)

年度	科目数	定員	入校者	入校率	修了者	就職者	就職率
R3	30	92人	71人	77.2%	66人	36人	54.5%
R4	20	75人	71人	94.7%	66人	36人	54.5%
R5	17	73人	57人	78.1%	—	—	—

3 技能の振興

技能労働者の社会的評価の向上や熟練技能者の技能の承継を図るとともに、若年者が進んで技能労働者を目指すような環境を整備するなど、技能を振興し技能が尊重される社会づくりを推進。

(1) 技能検定の実施

- 働く人の技能を一定の基準によって検定し、公証する技能検定（国家検定制度）を実施。本県では受検者ニーズ等を踏まえ、82職種を公示。

また、外国人技能実習生を対象とした技能検定を実施。

【実績】 ※外国人技能実習生は除く。

(単位：人)

年度		特級	単一等級	1級	2級	3級	合計
R2	合格者数	13	14	315	280	639	1,261
	受検者数	79	17	651	599	923	2,269
R3	合格者数	47	88	777	691	970	2,573
	受検者数	93	140	1,644	1,494	1,518	4,889
R4	合格者数	38	71	745	704	699	2,257
	受検者数	79	123	1,596	1,475	1,028	4,301

※R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期試験中止。

【実績】 ※外国人技能実習生のみ。

(単位：人)

年度		基礎級	3級	2級	合計
R2	合格者数	2,632	621	5	3,258
	受検者数	2,704	2,330	276	5,310
R3	合格者数	871	633	4	1,508
	受検者数	907	2,560	324	3,791
R4	合格者数	1,753	541	10	2,304
	受検者数	1,820	1,765	410	3,995

※R3年度は入国制限の影響により基礎級の受検者減少。

(2) ものづくり技能継承事業

- 11月の人材開発促進月間に合わせて、福岡県職業能力開発促進大会を開催し、県内の優秀技能者をはじめ、職業能力開発の推進に功績があった方に対し知事表彰を授与。

【過去3か年の知事表彰の種類と受賞者数】 (単位：人)

表彰の種類	表彰概要	R3	R4	R5
(1) 優秀技能者	同一業務に20年以上従事、卓越した技能を持つ者	19	18	16
(2) 優良技能者	同一業務に30年以上従事、50歳以上、人材育成に尽力	3	2	2
(3) 認定職業訓練関係功労者	50歳以上10年以上の訓練歴 50歳未満15年以上の訓練歴	4	3	3
(4) 技能検定関係功労者	技能検定委員10年以上	7	16	16

- 技能五輪全国大会や全国障害者技能競技大会（アビリンピック）等各種技能競技大会に技能者を派遣し、優秀な成績を目指すことで、技能者に努力目標を与えるとともに、本県の技能尊重社会づくりを推進。

【過去3か年の本県選手団の参加、入賞状況】 (単位：人)

	R3		R4		R5	
	参加者	入賞者	参加者	入賞者	参加者	入賞者
若年者ものづくり競技大会	2 1職種	2 金賞:2 ※ペア協議	8 5職種	3 敢闘賞:3	8 5職種	2 銀賞:1 敢闘賞:1
技能五輪全国大会	18 10職種	5 銀賞:1 銅賞:2 敢闘賞:2	19 11職種	6 金賞:1 銀賞:1 銅賞:3 敢闘賞:1	21 12職種	4 金賞:1 銀賞:1 銅賞:1 敢闘賞:1
アビリンピック	10 10職種	4 金賞:1 銅賞:2 努力賞:1	9 9種目	3 金賞:1 銅賞:1 敢闘賞:1	8 8種目	2 銀賞:1 銅賞:1
技能グランプリ					24 18種目	8 銀賞:4 銅賞:2 敢闘賞:2